

川島小鳥展 境界線で遊ぶ

冬の企画展



写真集『未来ちゃん』より ©Kotori Kawashima

2017年 1月21日(土)～3月5日(日)
10:00～17:00 (16:30 最終入場)
※月曜休館

会場
アートコア ミュージアム -1+ギャラリー

観覧料
一般 800円 (600円)、65歳以上および障害者 400円、
高校生以下無料
※()内は20人以上の団体料金
※障害者の介護者 (当該障害者1人につき1人無料)

川島小鳥 (かわしま ことり 1980-)
写真家。東京都出身。早稲田大学第一文学部仏文科卒業。
写真集『未来ちゃん』は異例の11万部を突破し、2011年の刊行以来、同写真集の展覧会は日本、台湾、タイ、ベトナムの4か国11都市で開催され、大きな反響を呼ぶ。『明星』で第40回(2014年度)木村伊兵衛写真賞を受賞。

今話題の写真家・川島小鳥がやって来る!

第40回木村伊兵衛写真賞を受賞し、最も注目を集める新進気鋭の写真家川島小鳥の個展を開催します。佐渡島の少女を活写し、一躍話題となった写真集『未来ちゃん』や、3年間にわたり台湾の少年少女たちの日常を撮影した写真集で木村伊兵衛写真賞を受賞した『明星』など、250点以上の写真を展示します。また、本展の空間デザインは、『未来ちゃん』の写真集を装丁したブックデザイナーの第一人者祖父江慎が手掛けます。



川島小鳥(左)、祖父江慎

関連イベント
オープニングトーク
そぶえしん
川島小鳥 × 祖父江慎
(写真家) (デザイナー/本展会場構成)

1月21日(土) (予定)

展覧会カタログ販売中!

「アートドキュメント2016 森のライトアート 高橋匡太展一光のフォークロア」のカタログが完成しました。野外作品光のインスタレーション「森の灯々」の写真(右)も収められた1冊です。ぜひお手に取ってご覧ください。



Photo Murakami Mito

〈年末年始休館日のお知らせ〉
・アートコアおよび創作工房
12月29日(木)～1月3日(火)
・ガラス工房
12月27日(火)～1月3日(火)
・レストランアンビション
12月27日(火)～1月6日(金)

- 月曜休館 (祝日の場合閉館、翌平日休館)
- (公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション(レストラン&森の結婚式) 問合せ アンビション TEL.73-4141



食べて学んでね

◆11月12日(土) 保健センター



昨年に引き続き、「たべて、まなぼっさ!」と題して食と健康フェアが開催されました。販売コーナーや食育コーナー、健康づくり応援コーナーなどに多くの家族連れらが訪れ、見たり食べたり体験したりしながら、おいしく楽しく食と健康について学んでいました。

秋の風物詩を楽しむ

◆11月23日(水) 剱岳公民館



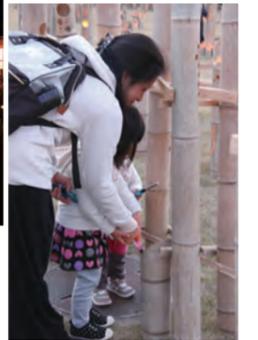
今年で35回目となる剱岳かりんて祭が行われました。各地区や団体による模擬店や物産館などでにぎわう中、ひとときわ目を引いたのは、直径約2.5mの大鍋で作る名物「かりんて鍋」。時折強い風が吹いたこの日、鍋は冷えた体を芯から温めてくれたようで、食べた人はほっとしたような笑顔を見せていました。



まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!

幻想的なあかりに包まれて

◆11月5日(土) 芦原温泉街



第2回あわら灯源郷が開催されました。今年は湯のまち広場のほか、湯〜わく Dori、芦の湯通り、セントピア広場でも行われ、点火ボランティア「チャッ火ちゃん」が2000本の竹あかりに点火すると、芦原温泉街全体が幻想的なあかりに包まれました。暗くなるにつれてより美しく映える竹あかりに、訪れた人たちはうっとり見入っていました。

文化の秋を楽しんで

◆11月5日(土)・6日(日) 中央公民館



第13回あわら市民文化祭が開催されました。市内で活動する文化系サークルによる作品や、施設入居者による作品、各コンクールの入賞作品などが多数展示され、訪れた人たちは友人の作品や気になる作品を見つけると、じっくりと鑑賞していました。

また、5日には生涯学習推進大会が同時開催され、表彰や展示、ステージ発表が行われました。